

2022 年 7 月 1 日発行
奈良県医療福祉生活協同組合
発行責任者 榎並憲治
編集・発行 すこやか編集会議
組合員数 6,103 人(5/31 現在)
出資金 92,854 千円(5/31 現在)
〒634-0004
奈良県橿原市木原町 230-1

ありがとう 10 年 つながりあって、これからも



2011 年 7 月 近隣の医療福祉生協・県内の生協の応援で地域一斉訪問を実施しました

奈良県医療福祉生活協同組合は、今年、創立 10 周年を迎えることができました。これもひとえに、組合員の皆さま、地域住民の皆さま、関係諸団体の皆さまのご協力とご支援の結果にほかなりません。心から感謝申し上げます。

生協の診療所として、組合員の健康を守るという目標のために常に適正な剰余で経営を維持することが必要です。みみなし診療所の開院当初は厳しい経営状況でしたが、組合員が主体的にすすめる健康づくり活動と医療スタッフによる丁寧な診療が有機的に連携できたことで着実に成長することができ、安定した剰余金確保もできるようになりました。

医療福祉生協の活動は、「早期発見」をすすめていきたいと考えています。だけでなく、積極的に「健康をつくる」というものです。「格差と貧困」「孤独と孤立」がここ最近大きな社会問題となっていますが、このような社会的要因が「健康」にも影響を及ぼしているといわれています。反

次の目標をめざして積極的に 活動をすすめていきましょう

専務理事 福山明浩



特定健診・がん検診今年も早めに受けましょう！

2022 年の特定健診・がん検診の受付が始まっています。お手元に受診券が届かない場合は、市町村の担当窓口を確認してください。新型コロナウイルス感染症の拡大の予測ができない状況です。今年も早めの健診受診をおすすめします。



みみなし診療所では安心して受診していただけるように感染予防対策をしています。ご予約や詳細は受付におたずねください。

みみなし診療所 ☎0744-23-5722

すこやか健診デーのお知らせ

みみなし診療所では、一人でも多くの方に健診を受診していただくために体制を整え、7 月から一日に多くの方が受診できるすこやか健診デーを開始します。ぜひこの機会にお友だちと誘い合って受診してください。健康づくり健診、特定健診、がん検診、エコー検査などが受けられます。

次回は 10 月 4 日(火)を予定しています。詳しくはみみなし診療所におたずねください。

●喫茶コーナーも設けています。



若者応援プロジェクト募金

コロナ禍の中で苦しい生活を強いられている学生たちに、奈良県生協連のもと、奈良県内の生協と協力して食料品などを届けます。

ウクライナ募金

ロシアによる軍事侵攻で厳しい状況にあるウクライナの子どもたちとその家族のためにユニセフ協会を通じて現地での支援に役立てます。

奈良県医療福祉生協では、2 つの募金活動を昨年から継続して取り組んでいます。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

読者のおたより

健康のためにもあつて毎日愛犬と朝昼晩の 3 回散歩をしています。私も「住み慣れた地域で健康に暮らし続けたい」と願っています。それでも病気になる時、医療福祉生協が近くにあるのは心強いです。

高市郡 C・M さん

すこやかを拝読して带状疱疹の予防接種があることを知り、ぜひ相談したいと思います。

大和高田市 M・K さん

奈良市 Y・M さん

医療生協誕生 10 周年おめでとうございす。「みみなし診療所を地域のよりどころに」の所長の理念に心動かされました。誰もが住み慣れた地域で健康に暮らし続けたいと願いますが、そのためには健診、医療情報が大切だということですね。これからも地域に根付いた診療所づくり、期待しています。

奈良市 A・K さん

医療とくらしの相談窓口

健康やくらしの不安、お悩み、お困りごとのある方、どのようなご相談でもお受けします。お一人で悩まないでお気軽にご相談ください。プライバシーは厳守いたしますので安心してお電話をしてください。

☎ 0744-23-1170

(月火金 10:00~15:00)

担当：榎並(えなみ)

お知らせ

漢字 de クイズのご応募方法が「はがき」「二次元バーコード」だけとなり、メールでの受付は終了します。

二次元バーコードで応募しよう！

スマートフォンをお持ちの方は下記の方法で簡単にご応募できます。

<応募の手順>

- ①スマートフォンで二次元バーコードを読み取る。
- ②応募専用のフォームが開く。
- ③クイズの答えなどの必要事項を入力する。

*マークの項目は必須事項です

- ④一番下の送信ボタンを押す。

以上で応募が完了します。

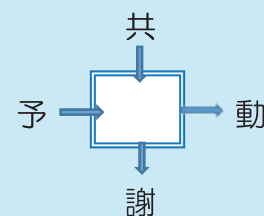
みなさまの応募をお待ちしています。



漢字 de クイズ

上下左右の漢字 1 字と口の漢字で二字熟語ができます。

口に入る漢字は何でしょう？



●前回の答えは「青」でした

■正解者の中から 5 名様に図書カード(500 円)をプレゼントします。

□「クイズの答え・すこやかの感想・住所・氏名・電話」を書いて、葉書もしくは、右記の二次元バーコードでご応募ください。

■締め切り 8 月末日

【送付先】〒634-0004 奈良県橿原市木原町 230-1

奈良県医療福祉生活協同組合 「すこやか」係

□個人情報は商品発送のみに使用します。

■読者のおたよりコーナーに掲載させていただく場合があります。

☆すこやか 42 号クイズ当選者☆

奥谷加奈子さん(橿原市) 橋本勝美さん(奈良市) 三石葉子さん(奈良市)

森田千賀子さん(明日香村) 森本千鶴子さん(明日香村)



写真でみる 奈良県医療福祉生活協同組合 10年のあゆみ



2010年奈良県で初めての医療福祉生協づくりが始まりました。現在のみみなし診療所の前に設置された現地事務所（通称ホワイトハウス。写真右）では、2012年からおたのしみカフェ（写真左）を開いて居場所づくりをしながら橿原市でのお知らせ活動をすすめました。



2012年 第1回通常総代会

2012年8月1日みみなし診療所の診療がスタートしました。診療所を地域に広く知らせるために、待合では「金所長の胃カメラ・大腸カメラの学習会」を開催してアピールしました。組合員活動では健康チェックをいろいろなところでおこないました。2013年、組合員活動委員会と機関紙すこやかを編集する広報委員会が立ち上がりしました。



2013年 大和高田市児童館で健康チェックとストレッチ体操



2015年 コープおしくまで健康チェック



2017年 すこやか塾



2018年 第6回いきいき健康まつり

2020年 生協ホールで活動するサークルによる「教え合い教室作品展」(写真右)



2014年 コープ自然派奈良おひろめ会で健康チェック



2016年 第4回 創立祭

2018年地域委員会は、奈良、天理・磯城、かつらぎ、橿原北、橿原南、桜井地域委員会の6つの地域で活動をすすめることになりました。2019年新しく重松信子所長医師と内視鏡検査医師を迎えました。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大が事業と活動に大きな影響を及ぼしました。みみなし診療所では感染対策をきちんと取って医療に取り組み、組合員活動では地域委員会活動と「わたしのつながりチャレンジ」でつながることの大切さを呼びかけました。



2019年 すこやかカフェみみなし



2021年 ならコープ健康講座・すこやか塾

2021年第9回通常総代会で仲宗根理事長から榎並新理事長へとバトンが手渡されました。



第10回 通常総代会報告

2022年6月18日(土)13時30分からコープみみなし研修室にて第10回通常総代会を開催しました。今年度もコロナ感染予防に配慮して規模を縮小した総代会となりましたが、書面議決書を含めて141名の総代の出席で全議案が可決承認されました。



榎並理事長から「今年の3月で法人創立10年を無事迎えることができたことは組合員、地域の方々、関係団体の皆様方のご支援の賜物と感謝しています。コロナ禍の中、診療所では感染対策を取り、発熱外来およびPCR検査装置の設置などで受診環境を整えて日々の医療にあたり、組合員の皆様のお役に立つことができました。一方で格差と貧困、孤立から医療とくらしの相談窓口に来られる方も増えました。ロシアによるウクライナ侵攻にはいち早く抗議し募金活動にも取り組み平和の大切さを再確認しました。医療福祉生協の理念を大切に、誰もが等しく健康で居心地よく暮らせるまちづくりを組合員の皆様とともにすすめてまいりましょう」との開会挨拶がありました。

- 第1号議案 2021年度事業活動報告・決算関係書類承認の件、監査報告
 - 第2号議案 2022年度事業活動方針及び予算案決定の件
 - 第3号議案 役員報酬決定の件
 - 第4号議案 定款改定の件
 - 第5号議案 監事監査規則改定の件
- が報告・提案され、全議案が賛成多数で可決承認されました。



退任役員
地域区理事の木下厚子が退任しました



出資金を増やしましょう! ~10周年記念増資のお願い~

今回の総代会で「定款改定の件」が承認され、出資金の限度額が300万円になりました。今後は広く出資金を増やしていくことがたいせつになります。奈良県医療福祉生活協同組合は創立10周年を迎え、組合員と地域のみなさんのすこやかなくらしを守るために事業と活動をさらに大きくしていかなければなりません。一人でも多くの組合員のみなさんの「10周年記念増資」へのご協力をお願いします。



「ご意見・ご質問用紙」は21通の提出があり3人の総代から発言がありました。福山専務理事から主だった質問を含めて回答がなされました。

- ・辻本悦子総代「かけがえのない存在、みみなし診療所との出会い」
- ・松田芙美子総代「『つながりづくりは健康づくり』地域の方々の健康に貢献する活動をめざして」

・安川孝子総代
「医療福祉生協の組合員になってよかったと思ってもらえる取り組みと場づくりの実践を」



2022年度 たいせつにしたいこと

- 1.創立10周年を迎え「人と人とのつながりづくり」や「居場所づくり」を基本活動としてさらに広げ、組合員や地域住民のすこやかなくらしと健康づくりをすすめます。
- 2.内視鏡検査枠・健診受診枠の拡大と特定健診やがん検診、事業所健診の呼びかけを強化し、組合員や地域の方々の健康づくりに役立つ事業をすすめるとともに、医療収益増加をはかります。
- 3.風疹抗体検査・接種、インフルエンザ予防接種を重点にして保健予防をすすめます。
- 4.新しい組合員の加入をすすめ、増資の意義を広く組合員に伝えて取り組みます。
- 5.くらしや健康に役立つ情報発信に努めます。
- 6.誰もが楽しく参加する組合員活動をめざします。

2022年度の事業目標

新規加入	130人
出資金増資	5,800千円
事業収益予算	115,914千円
経常剰余金	5,430千円